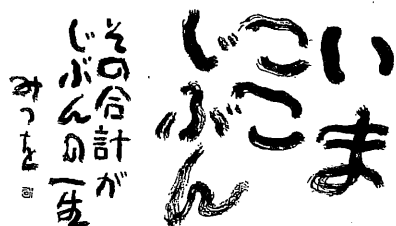


さくら第531号

令和 6年3月

さくら

発行所 さくらそろばん
 発行者 平瀬重雄
 春江町境 17-7:TEL51-1337
 hirase@mx2.fctv.ne.jp



『全珠連段位検定合格1002段達成』

全珠連検定試験の3級以上は年に6回、1月、3月、5月、7月、9月、11月の奇数月に施行され、種目は1級から3級までのかけ算、わり算、みとり算、伝票算、暗算、応用計算のほかに、段位は開法問題(面積を求める開平と体積を計算する開立)の7種目になります。

3級以上、段位は、かけ算・わり算・みとり算の3種目はかならず審査対象ですが、残りの種目は選択制度があり、一番少ない点数の種目は審査対象外となります。

また、段位検定試験では特認制度があり連続3回分の点数によって審査されるので、今回の点数が少なくても、前回と前々回の点数が高ければそれが採用されます。

1級から3級はすべてその回で判定されるので1種目でも90点があれば合格できませんが段位では、たとえある種目が0点でも、前回と前々回の点数が審査対象になります。

しかし、十段だけは、特認制度が採用されずその回だけの一発審査になります。

さて、段位合格するにはどのようなことが必要なのか4つを挙げてみます。まずは「**具体的な目標を立てる**」。2つ目は「**努力の継続**」です。3つ目は「**諦めずにやりぬく強い意志**」。そして「**運を引き込む**」ことです。

何年生の何月検定で何段を合格したいという具体的な期日を決めることです。そのうちに合格できればもうけものなどと安易な気持ちでなく、いつ合格するんだという目標に向かって、努力を続けます。

最初は頑張るぞと意気込んでいてもだんだ

んやる気を失う人もいます。あきらめずに練習を続ける意識を強くもってください。

一人で練習を続けるには強い意志が重要であり、あの人に追いつきたい、負けたくない、というようなライバルというか切磋琢磨する人を決めてがんばることで。心ひそかに、あの人を目標にと思うことでやる気が増します。

4つ目の運。多くの時間をかけて練習し、点数もずいぶんアップしたので今回は合格するだろうと意気込んでいたのに、試験数日前になって、コロナに感染したり、インフルエンザに家族ともどもなったので受験できなかったという人がいます。

合格するには本人の真剣な努力と家族の助

十段	九段	八段	七段	六段	準六段
1	5	3	4	13	1
五段	準五段	四段	準四段	参段	準参段
28	1	32	11	54	13
式段	準式段	初段	準初段		427
72	16	103	70		1002

けがあつてなし得ることですから、ふだんの生活のなかで感謝することが大事です。

これまでの検定試験において皆さんの努力とご家族の励ましなどによって令和6年1月検定試験において段位合格者が427名で合格段位数が1000段を超えました。

1種目300点満点中200点で26名が6段合格ですが、その合格率は6%です。

暗算十段4名、暗算合格者47名

九段5名、八段5名、七段3名、六段6名、五段4名、準五段1名、四段3名、準四段1名、参段3名、式段6名、初段4名、準初段2名で総段位数は248段になります。

1級に合格したのち、段位の練習を続けるには強い気持ちが大事です。合格するにはあきらめない気持ちと前向きに進む意欲が必要です。色々な環境のなかで自分の気持ちをふるい立たせて負けずにやりぬくことで、自信が生まれ、さらなるレベルアップにつながります。継続は力なりというようにあきらめないことです。

梅が香や ことに月夜の 面白し

季語 梅が香 加賀千代女